

令和 5 年 4 月 12 日

食農学類附属発酵醸造研究所の産学地域連携チームが 新開発系統酒米で日本酒を醸造・限定販売

発酵醸造研究所と地域の農業法人および酒蔵との産学地域連携チームが取り組んでいる酒米・日本酒開発研究プロジェクトの一環として、開発した新系統の酒米を使って純米吟醸酒を試験醸造し、福島大生協を通して限定販売することになりましたのでお知らせいたします。

福島大学食農学類附属発酵醸造研究所の酒米研究チーム（北野客員教授、松岡特任教授、他）は、福島大学からの財政支援（foR-F）も受けて、未来農業㈱（福島市松川町）との共同研究により、福島の気候、風土に適した酒造好適米（酒米）の開発研究を進めています。

これまでに、既存の酒造好適米系統を親株として作成された酒米変異株の中から、生育が良好で寒くなる前に登熟して収穫が可能な「早生」の性質を持つ系統をいくつか選抜してきました。昨年度、酒造好適米「山田錦」を親系統とする有望な一系統を未来農業㈱の一般圃場で試験栽培し、秋には米粒の姿かたちは親系統の山田錦と遜色ない米を収穫することができました。今後、この系統の改良を進めていきますが、今回収穫した新米を使って鈴木酒造店（双葉郡浪江町）との連携協力により3月初めに純米吟醸酒の試験醸造の仕込みを開始しました。3月末には醸造が完了しましたので、福島大学生協を通して、しぼりたての新酒「食農学類-壺号」を限定販売いたします（インターネットでの通信販売も予定）。

（お問い合わせ先）

食農学類教授・附属発酵醸造研究所長 松田 幹

電 話：024-503-4986

メール：tmatsuda@agri.fukushima-u.ac.jp



食農学類附属発酵醸造研究所の 産学地域連携チームが 新開発系統酒米で日本酒を醸造・限定販売



代表取締役
丹野友幸
福島地域酒米研究会会長
食農学類学生

未来農業株式会社
(福島市松川町)

福島大学食農学類
附属発酵醸造研究所
(福島市金谷川)

代表取締役
杜氏
鈴木大介



(株)鈴木酒造店
(双葉郡浪江町)

産学地域連携チーム



